

国際政治

163

「核」とアメリカの平和

日本国際政治学会編

序章 「核」とアメリカの平和	佐々木 卓也
「アジア原子力センター」構想とその挫折	友次 晋介
「核による平和」に地球環境的限界はあるか	樋口 敏広
米国の核優位への執着と全面完全軍縮、一九五九—一九六三年	黒崎 輝
米欧同盟と核兵器拡散問題	倉科 一希
ジョンソン政権における核シェアリング政策	新垣 拓
冷戦末期の日米同盟協力と核軍縮	瀬川 高央
対米同盟と非核・核軍縮政策のジレンマ	上村 直樹
欧州MD問題、軍備管理の復活と米ロ関係	阿南 東也
核不拡散政策における普遍性と個別性の相互干渉	秋山 信将
<hr/>	
中仏国交正常化（一九六四年）と「一つの中国」原則の形成	福田 円
一九七〇年代初頭における日本経済界の中国傾斜とその背景	李 彦銘
<書評>	
ロジャー・ディングマン著 『日が昇る国を解説』	蓑原 俊洋
菅英輝編著 『冷戦史の再検討』	齋藤 嘉臣
山田哲也著 『国連が創る秩序』	井上 実佳
浜由樹子著 『ユーラシア主義とは何か』	宇山 智彦

2011年1月刊